

令和7年9月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和7年9月1日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 渋川市20周年記念事業 伊香保歴史文化風土講演会・現地学習会が開催されます(資料1)
- 2 渋川市20周年記念事業 「しぶかわアニバーサリーフェスタ
～ふるさと渋川の未来を食と音楽と芸術で奏でる～」が開催されます(資料2)
- 3 「しぶかわ推し」のロゴマークを決定する市民投票を実施します(資料3)
- 4 渋川市20周年記念事業 「第42回日本のまんなか渋川へそ祭り」を開催します(資料4)

その他資料提供

- ・令和7年度第1回市政モニターアンケートの実施結果をお知らせします(資料5)
- ・渋川市国際交流協会の「バーベキュー交流会」が開催されます(資料6)

○次回開催予定

日時：令和7年9月8日(月) 午後1時
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
9月1日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室 総務課 観光課
	14:00	当選証書付与式	市役所本庁舎	
	14:30	第30回夢二忌俳句大会・第28回夢二俳句大賞表彰式	ホテル天坊	
9月2日(火)				
9月3日(水)				
9月4日(木)				
	17:00	子持産業振興(株)取締役会	子持行政センター	農政課
9月5日(金)	14:00	第25回しぶかわ能鑑賞会	市民会館大ホール	生涯学習課
9月6日(土)	13:00 13:30	第42回渋川へそ祭りオープニングセレモニー へそ地蔵42年祭	新町五差路 寄居町会館へそ地蔵前	観光課 市民協働推進課
9月7日(日)				
9月8日(月)	9:00 13:00	庁議 市長定例記者会見	市役所本庁舎 市役所本庁舎	政策戦略課 広報室

資料1

渋川市20周年記念事業 伊香保歴史文化風土講演会・現地学習会が開催されます

伊香保の歴史や文化を学び、地域の魅力を再発見することにより、郷土への関心や歴史・文化資源を活用した地域活性化を図ることを目的とした講演会・現地学習会が開催されます。

この事業は、郷土への愛着の向上や、歴史・文化資源を活用して地域の魅力向上を目指すという観点において、渋川市が取り組んでいるまちづくりの方針と合致することから、「しぶかわ未来共創推進事業補助金」の対象事業として渋川市が採択し、実施されるものです。

1 概要

伊香保の歴史や文化を学び、地域の魅力を再発見することにより、郷土への愛着を深めるとともに、歴史・文化資源を活用した地域活性化を目指す講演会・現地学習会が、NPO法人地域価値プラスの主催により開催されます。

この事業は、郷土への愛着を高めるとともに、地域活性化及び地域の魅力向上に資するものであることから、「しぶかわ未来共創推進事業補助金」の対象事業として市が採択し、実施されるものです。

2 内容

(1) 講演会

- ①日 時 令和7年9月25日(木) 午後1時～3時
- ②会 場 伊香保公民館・講義室(渋川市伊香保町伊香保163-1)
- ③内 容 伊香保温泉を守護する伊香保神社の歴史や、石段街の礎を築いた真田幸隆・昌幸親子、高崎藩初代藩主で徳川四天王の一人・井伊直政と伊香保との関わりを読み解く講演会を行います
- ④講 師 地域コンサルタント 長谷川 樹(はせがわ たつる)さん
- ⑤定 員 70人(先着順)

(2) 現地学習会

- ①日 時 令和7年10月23日(木) 午後1時～3時
- ②会 場 伊香保温泉石段街
※集合場所は文学の小径(渋川市伊香保町伊香保560-9)
- ③内 容 講演会の内容などをもとに、伊香保神社や石段街などを巡りながら、現地での学習を行います
- ④講 師 NPO法人地域価値プラス会員
- ⑤定 員 60人(講演会に参加した人が対象)

3 参加料 無料

4 参加方法

NPO法人地域価値プラス代表の関さんあてに、電話(0279-72-4657)またはメール(yasushi1957seki@gmail.com)で申し込んでください。

※メールの場合は、件名を「伊香保講演会申込み」とし、「参加者名・年齢・住所または勤務先」を記入して送信してください

5 申込開始日 令和7年9月10日(水)

6 記者会見出席者

NPO法人地域価値プラス 代表 関 靖(せき やすし)さん

参考

1 「NPO法人地域価値プラス」について

渋川・伊香保地域を主な活動拠点とし、地域づくり団体「地域価値プラス」を設立後、令和4年にNPO法人化。渋川・伊香保地域の郷土史について研究し、歴史年表の作成・発行のほか、伊香保温泉周辺の空き店舗利活用支援や自治会の運営支援など、地域課題の解決に資する幅広い活動を行う。

2 長谷川 樹 氏について

昭和35年生まれ、福島県出身。東京大学文学部卒業後、市場調査会社での勤務を経て、地域計画コンサルタント会社を設立。以降、多くの官庁や企業、各種団体の事業計画策定に携わる。

平成22年から3年間の任期制職員としてさいたま市役所に勤務後、さいたま市情報発信アドバイザー、日本経営協会専任コンサルタント等を歴任。

令和元年、まほろばプランニング株式会社(福島県いわき市)を設立し、地域づくりやマーケティングなど、行政・企業に対するコンサルティングを行う。

3 令和7年度「しぶかわ未来共創推進事業補助金」採択事業

	事業名称	開催日	開催場所	主催者
1	心と身体を整える バランスボールセミナー	令和7年 6月21日	渋川市民会館	まるっと渋川盛り 上げ隊実行委員会
2	「子どもの力を伸ばす 大人の力」講演会・座談会	令和7年 10月25日(土)	渋川公民館	h u b

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史(内線2410)

担当：政策戦略課(電話0279-25-8419)

課長 小野 篤史(内線2420)

未来戦略係長 齋藤 大輔(内線2423)



伊香保歴史特別講演会

講師／地域コンサルタント

長谷川樹氏

開催日

令和7年

9月25日 木

時間

午後1時～3時



講演会に参加された方、全員にNPO法人
地域価値プラスが特別に作成した【伊香保
歴史風土記ガイド】をもれなくプレゼント！
歴史観光案内に役立つガイドブックです。
お申込みをお待ちしております。

誰も知らない
伊香保の歴史を
学んでみませんか

場所

伊香保公民館 2階会議室

定員

先着順70人

参加費

無料

お申込み

72-4657(関)

資料2

渋川市20周年記念事業

「しぶかわアニバーサリーフェスタ ～ふるさと渋川の未来を食と音楽と芸術で奏でる～」が開催されます

公益財団法人渋川市まちづくり財団主催の「しぶかわアニバーサリーフェスタ」が、9月13日(土)に渋川市民会館で開催されます。

この事業は、令和7年5月1日から渋川まちづくりプロモーターとして活動している渋川市地域おこし協力隊・広井沙希隊員が初めて中心となって企画・準備を進めているもので、「食と音楽と芸術」をテーマに渋川市の20周年を祝います。

1 概 要

公益財団法人渋川市まちづくり財団が、渋川市20周年を記念して「しぶかわアニバーサリーフェスタ」を開催します。

この事業は、令和7年5月1日から渋川まちづくりプロモーターとして活動している、渋川市地域おこし協力隊の広井沙希隊員が初めて中心となって企画し、準備を進めている事業で、「食」「音楽」「芸術」の3つのテーマで渋川市の20周年を祝います。

当日は、クラフトビール販売や地元食材を使ったメニューによる飲食ブースを設ける「食」、渋川市出身のミュージシャンによるライブを行う「音楽」、渋川女子高校書道部による書道パフォーマンスや地元若手画家の作品を展示する「芸術」など、テーマに沿った多彩な催しが予定されています。

また、地域おこし協力隊員同士が連携する取り組みとして、創作こけし分野で活動する平野風紗隊員がこけしの絵付け体験ブースを運営し、インバウンド観光振興分野で活動する藤田雅美隊員がチョークアートによりイベントのタイトル吊り看板の製作を行うほか、「ユースセンターよはく」を利用する高校生・大学生18人が一部コーナーの企画・運営にボランティアとして協力いただくなど、次世代を担う若者たちもイベントを盛り上げます。

2 日 時 令和7年9月13日(土) 正午～午後8時

3 会 場 渋川市民会館

4 内 容

(1)「食」関連イベント

内 容	時 間	備 考
飲食販売	正午～午後8時	
地元野菜詰め放題	午後1時30分～ なくなり次第終了	参加費：300円
利きビール大会	午後4時～	参加無料（景品がなくなり 次第終了）
ビアガーデン	午後4時～8時	

(2)「音楽」関連イベント

内 容	時 間	出 演 者
ラフターヨガ	午後 0 時30分～ 1 時30分	群馬ジョイラフター
ウクレレ演奏	午後 1 時30分～ 2 時	駅のえんがわウクレレチーム
和太鼓パフォーマンス	午後 2 時～ 2 時30分	渋川雷太鼓保存会
渋川ソング弾き語り	午後 2 時30分～ 3 時	キテ
ブレイクダンス パフォーマンス	午後 3 時15分～ 3 時30分	MAEBASHI PARK BREAKERS ／ KABUTO
ヒップホップダンス教室	午後 3 時30分～ 4 時	講師：広井 拓さん
「BOØGY」ライブ	午後 5 時～ 6 時	BOØGY (※ 1)
「さとう麻衣」ライブ	午後 7 時～ 8 時	さとう麻衣 (※ 2)

※ 1 群馬県出身ものまねタレント「じぐろ京介」率いるBOØGYトリビュートバンド

※ 2 渋川市出身シンガーソングライター

(3)「芸術」関連イベント

内 容	時 間	備 考
書道パフォーマンス	正午～	渋川女子高校書道部
こけしの作品展示・ 絵付け体験 (※ 1)	正午～午後 5 時	体験料：500円 (体験は午後 0 時30分～)
山中周平氏作品展示	正午～午後 8 時	市内在住画家・山中周平氏のアクリル画の展示
こども絵画作品展示		※ 2

※ 1 渋川市地域おこし協力隊・平野風紗隊員が運営協力します

※ 2 8月23日に開催されたイベント「大きなキャンバスに夢とふるさと渋川を描こう」で子どもたちが描いた大きな絵画作品を展示します

(4) その他イベント

内 容	時 間	備 考
縁日コーナー	正午～	射的、スーパーボールすくい、駄菓子など (有料)
eスポーツ体験 マインクラフトで「渋川の街並みをつくろう！」	午後 0 時30分～	参加無料 (1 人20分) 午前11時45分～受付開始 ※先着45人
光るうちわ作り	午後 0 時30分～	参加料：300円
宝探し (※)	午後 2 時30分～	参加無料 (景品がなくなり次第終了)
連続ゴミ箱フリースロー (※)	午後 3 時30分～	参加無料 (景品がなくなり次第終了)
「いしだんくん」記念写真撮影&グリーティング	午後 1 時30分～/午後 2 時30分～/午後 4 時～	
会場ライトアップ	午後 5 時～ 8 時	絵付け提灯による屋外広場のライトアップ

※「ユースセンターよはく」を利用する高校生・大学生が企画・運営協力します

5 記者会見出席者

渋川市地域おこし協力隊（渋川まちづくりプロモーター） 広井 沙希 隊員

参考

1 広井 沙希 隊員について

新潟県出身、30歳。

幼少期から親しんでいたダンスをはじめ、様々なイベントに携わってきた経験を生かし、渋川まちづくりプロモーター分野の地域おこし協力隊として、令和7年5月1日から公益財団法人渋川市まちづくり財団を拠点に活動中。

2 平野 凧紗 隊員について

富山県出身、22歳。

京都の大学で仏像彫刻を学ぶ中で群馬県の創作こけしと出会い、伝統を守りつつも現代の感性を取り入れていく工芸品の魅力に惹かれ、令和7年4月1日から地場産業（創作こけし）分野の地域おこし協力隊として活動中。

3 藤田 雅美 隊員について

栃木県出身、41歳。

留学や学習塾講師等の経験を生かした英語力と、チョークアートによる看板製作や高いコミュニケーションスキルを生かし、令和7年7月1日からインバウンド観光振興分野の地域おこし協力隊として活動中。

4 「ユースセンターよはく」について

高校生や大学生などのユース世代が、放課後などに思い思いに好きなことをして過ごせる学校以外の居場所として令和6年4月に開所。

（1）所在地：渋川市渋川1816-22

（2）開所日：月～金曜日の午後4時～9時

（3）利用料：大人200円（学生（中学生・高校生・大学生等）は無料）

（4）代表者：所長 千明 俊太（電話070-3277-0605）

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

澁川を
味わいつくせ！
入場無料

2025

9月13日(土)

12:00~20:00

会場

澁川市民会館

イベントの見どころ

食べて飲んで
遊んで観て
20周年を
お祝いしよう！



澁川市20周年記念事業



しぶかわアーニバーサリーフェスタ
ふるさと澁川の未来を食と音楽と芸術で奏でる

12:00~

OPENING ACT

・澁川女子高等学校 書道部
書道パフォーマンス



12:00~

飲食販売

地元食材を使用した飲食
クラフトビール など



12:00~

緑日コーナー

射的、スーパーボールすくい
駄菓子屋さん



12:30~

eスポーツ 無料体験

マイクラフトで
「澁川の街並みをつくろう！」

伊香保石段街のまわりに、みんなの想
像する未来の澁川を創ってこう！

※ 当日11:45~受付 (無料・先着順)



MAIN ACT



BOØGY

開場 16:30 開演 17:00

群馬県出身
氷室京介ものまね師
「じぐろ京介」率いる
BOØGYトリビュートバンド

さとう麻衣

開場 18:30 開演 19:00

澁川市出身
シンガーソングライター

★市民会館初公演★



観覧無料・先着順
公演時間は各1時間程です

体験イベント

- ・光るうちわ作り
- ・こけし絵付け体験
- ・地元野菜詰め放題
- ・宝探し~宝箱を見つけて景品ゲット!~
- ・みんなで踊ろうhiphopダンス教室
初心者大歓迎!



ワクワクするイベントが盛りだくさん!

(詳細は裏面をご覧ください)

お友達やご家族を誘ってぜひお越しください★

※お車を運転される方にはアルコール類の提供はいたしません

主催：公益財団法人澁川市まちづくり財団

詳細はコチラ



TEL

0279-25-7070

しぶかわアニバーサリーフェスタ

～ふるさと渋川の未来を食と音楽と芸術で奏する～

★タイムスケジュール★

音楽

パフォーマンス
&
体験イベント

食その他

体験
イベント

12:30-13:30

参加無料

ジョイラフター

・ラフターヨガジョイリズム
・ドラムサークルハンドパン

① 小ホール

13:30-14:30-16:00 参加無料

伊香保温泉観光宣伝隊長

「いしだんくん」と
記念写真撮影&グリーティング

① 市民会館各所

13:30-14:00

観覧無料

駅のえんがわウクレレチーム
ウクレレ演奏

① 多目的広場

14:00-14:30

観覧無料

渋川雷太鼓保存会
和太鼓パフォーマンス

① 多目的広場

14:30-15:00

観覧無料

キテ
渋川ソング弾き語り

① 小ホール

15:15-15:30 観覧無料

MPB ダンスパフォーマンス
KABUTO ダンスパフォーマンス

① 小ホール

15:30-16:00

参加無料

ちびっこあつまれ！みんなで踊ろう
ヒップホップダンス教室

★初心者大歓迎★ 講師：広井拓さん ① リハーサル室

12:30-17:30

参加無料

eスポーツ無料体験

マインクラフト「渋川の街並みをつくろう！」
先着45人（当日受付順）

① 当日11:45～総合案内所にて受付

13:30

参加費¥300円

地元野菜詰め放題

～小キズ等の理由で市場には出回らない野菜を
お得にゲット！～
※ 終わり次第終了

① 大ホールホワイエ

14:30

参加無料

宝探し

～市民会館各所に隠された宝箱を探せ！～
宝箱を見つけた人に豪華景品をプレゼント
※ 先着順

① 当日14:00～総合案内所にて受付

15:30

参加無料

連続ゴミ箱フリースロー

3人1組連続チャレンジ！チャレンジ成功で景品プ
レゼント
※ 景品がなくなり次第終了

① 大ホールホワイエ

16:00

参加無料

利きビール大会

チャレンジ成功でビール1缶プレゼント
※ 先着50人（20歳以上）

① 2階多目的室

16:00

入場無料

ビアガーデンオープン！

クラフトビール販売スタート
※ 2階テラス席の開放は12:30～

① 2階テラス

※ お車を運転される方にはアルコール類の提供はいたしません

芸術

作品展示

12:30-20:00

渋川女子高等学校書道部作品展示

オープニングアクトの書道パフォーマンスで
制作した作品を展示します！

① 多目的広場

12:00-20:00

渋川市内在住画家
山中周平 作品展示

自宅アトリエで制作したアクリル画を展示
作品鑑賞しながら飲食をお楽しみください

① 2階多目的室

12:00-17:00

こけし作品展示 & 販売

こけし絵付け体験

渋川市地域おこし協力隊 平野風紗さん

① 大ホールホワイエ

12:00-20:00

絵画作品展示

未来を担う子ども達が夢とふるさと渋川を描いた大きな
絵画作品を展示します！

① 小ホール・ロビー

※ 写真はイメージを含みます

※ 各催し物は、予告なく変更になることがあります

資料3

「しぶかわ推し」のロゴマークを決定する 市民投票を実施します

しぶかわ推しロゴマークを募集したところ、129作品の応募がありました。全ての応募作品について、デザイン性などの観点から事前審査・1次審査を行い、候補作品を4作品に絞りました。この4作品の中から採用作品を選定するに当たり、2次審査として、市民等を対象とした投票を実施します。

1 概 要

「しぶかわ推し」とは、これぞ渋川と市内外に自慢できるもので、市の魅力発信と地域経済の活性化を図るものです。現在、第1弾として料理・菓子を募集しています。

「しぶかわ推し」に認定されたものを視覚的に分かりやすく伝えるためロゴマークを募集したところ、129件の応募がありました。

それらについて、「コンセプト性」、「シンボル性」、「デザイン性」、「オリジナル性」の4つの観点から事前審査と1次審査を実施し、次の4作品を選考しました。この4作品の中から、しぶかわ推し「ロゴマーク」を選ぶに当たり、市民等を対象とした投票を行います。

なお、採用作品をデザインした人には、賞金5万円を贈呈します。

2 対象作品及び作品の説明

(1) 作品No. 1



〈作品の説明〉

渋川市を背景にサムズアップして、ぐいっと「いいね！」を押すイメージです。

(2) 作品No. 2



〈作品の説明〉

外周の12個の外向きの矢印は12か月及び全方位を意味し、時期、ものを問わず外方向に溢れる魅力があることを示しています。中央には推しであることが一目で分かるようサムズアップのシンボルを入れました。「渋川」から渋皮→栗をイメージして栗色としました。

(3) 作品No. 3



〈作品の説明〉

全体をエンブレム風のカタチのモチーフに考えました。 その中に、市の鳥、 市の木、 市の花、 水沢うどん、 伊香保温泉を配置しました。

(4) 作品No. 4



〈作品の説明〉

渋川市から贈られた勲章をコンセプトに、推している手と勲章をモチーフにデザインしました。

3 投票方法

下記の方法による投票審査を行い、最も得票数の多かった作品を採用作品とします。

(1) 市内在住・在勤・在学者を対象とする投票

次のいずれかの方法で投票できます。投票をする際に、投票者の氏名及び投票資格を明記してもらいます。

①市役所本庁舎、第二庁舎及び各公民館での投票（投票用紙による）

※市役所の閉庁時及び公民館の閉館時は投票できません

②市ホームページからの投票（投票フォームによる）

投票はこちらから▶



(2) 市内中学生及び高校生へのアンケートによる投票

4 投票期間 令和7年9月1日(月)～19日(金)午後5時

5 結果の公表

令和7年10月以降の記者会見で発表します。

参考

応募状況の内訳

(1) 応募期間 令和7年6月2日～31日

(2) 応募件数 129作品 (応募者数 92人)

※内訳は下記のとおり

	市内	県内	県外	合計
10代	3	0	6	9
20代	0	2	8	10
30代	1	4	7	12
40代	0	0	14	14
50代	0	1	14	15
60代	3	1	19	23
70代	3	0	29	32
80代	1	5	2	8
不明	0	0	6	6
合計	11	13	105	129

①県内：高崎市、前橋市、安中市、みどり市

②県外：28都府県

愛知県、青森県、石川県、茨城県、岩手県、大分県、大阪府、
香川県、鹿児島県、神奈川県、岐阜県、京都府、熊本県、埼玉県、
静岡県、千葉県、東京都、富山県、長崎県、長野県、新潟県、
兵庫県、広島県、福井県、福岡県、三重県、宮崎県、山形県

③平均年齢：54.5歳

④最高年齢：83歳

⑤最少年齢：13歳

⑥学生：11人

2 「しぶかわ推し」認定 25品 (令和7年8月18日現在)

「しぶかわ推し」の詳細はこちらから▶



■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：広報室 (電話0279-22-2182)

室長 熊迫 徳三 (内線2419)

シティブランド発信係長 坂本 和馬 (内線2416)

渋川市20周年記念事業

「第42回日本のまんなか渋川へそ祭り」を開催します

渋川の夏の風物詩「第42回日本のまんなか渋川へそ祭り」を開催します。
熱中症対策のため、今年も9月第1週土曜日の9月6日(土)に開催します。

1 経 緯

昭和58年に渋川市のキャッチフレーズ「日本のまんなか緑の渋川」が選定されました。これをきっかけに「日本のまんなか」であることを街の活性化につなげるため、翌59年に渋川商工会議所を中心に第1回渋川へそ祭りが開催されました。

平成15年の第20回からは商店街、企業中心の商工祭から広く市民が参加する市民祭に形を変え現在に至っています。

2 日 時 令和7年9月6日(土) 午後1時～9時

3 会 場 新町五差路周辺

4 内 容

(1) へそ踊りパレード(午後6時～8時・雨天中止)

渋川へそ祭りのメインイベントで、次の3種類の踊りを披露しながら一斉に行進します。踊りごとに優秀踊り団体を表彰する「踊りコンテスト」も実施します。

①はら踊り：おなかに顔の絵を描いて、ステップしながら行進する踊りです

(6団体・237人参加予定) + 飛び入り参加(昨年26名)

②浴衣踊り：浴衣を着用し、おそろいの振り付けで踊りながら行進します

(10団体・223人参加予定)

③自由踊り：衣装も振り付けも自由に踊りながら行進します

(5団体・76人参加予定) 合計536名参加予定

(2) 路上パフォーマンス(午後1時30分～8時30分の間の、ちびっこへそ踊りパレード及びへそ踊りパレードを除く時間で実施・雨天中止)

市内の高校生等に、吹奏楽や和太鼓演奏など自慢の技や芸を披露してもらいます(10団体参加予定)。

(3) 警察・消防・自衛隊車両展示(午後1時～6時)

パトカーや消防車、自衛隊車両の展示を行います。

※消防車は午後2時から展示予定

(4) へそ地蔵42年祭(午後2時15分～4時)

ところてんや冷水の配布サービスを行います。

(5) 消防ランド(午後2時～4時・会場は渋川広域消防本部)

子ども用消防衣類着用体験や放水といった各種体験ができます。

(6) 電動カート体験(午後1時30分～3時予定)

渋川工業高校自動車科による、電動カートの体験ができます。

参考

渋川へそ祭り過去の開催日及び参加者数

回数（開催年度）	開催日	参加者数	観客数
第1回（昭和59年度）	7月23日、24日	1,500人	不明
第2回（昭和60年度）	7月22日、23日	2,786人	不明
第3回（昭和61年度）	7月21日、22日	不明	不明
第4回（昭和62年度）	7月22日、23日	2,990人	不明
第5回（昭和63年度）	7月25日、26日	3,020人	不明
第6回（平成元年度）	7月23日、24日	2,600人	不明
第7回（平成2年度）	7月22日、23日	不明	不明
第8回（平成3年度）	7月21日、22日	不明	不明
第9回（平成4年度）	7月27日、28日	3,000人	150,000人
第10回（平成5年度）	7月25日、26日	2,546人	不明
第11回（平成6年度）	7月25日、26日	2,350人	不明
第12回（平成7年度）	7月25日、26日	1,681人	不明
第13回（平成8年度）	7月25日、26日	1,680人	不明
第14回（平成9年度）	7月25日、26日	1,741人	不明
第15回（平成10年度）	7月24日、25日	1,536人	不明
第16回（平成11年度）	7月23日、24日	1,670人	不明
第17回（平成12年度）	7月21日、22日	1,548人	65,000人
第18回（平成13年度）	7月27日、28日	1,593人	65,000人
第19回（平成14年度）	7月26日、27日	1,514人	75,000人
第20回（平成15年度）	7月25日、26日	1,181人	60,000人
第21回（平成16年度）	7月23日、24日	1,360人	70,000人
第22回（平成17年度）	7月22日、23日	1,308人	75,000人
第23回（平成18年度）	7月21日、22日	1,283人	70,000人
第24回（平成19年度）	7月27日、28日	1,298人	75,000人
第25回（平成20年度）	7月25日、26日	1,285人	70,000人
第26回（平成21年度）	7月24日、25日	1,308人	75,000人
第27回（平成22年度）	7月23日、24日	1,407人	70,000人
第28回（平成23年度）	7月23日	900人	50,000人
第29回（平成24年度）	7月28日	938人	50,000人
第30回（平成25年度）	7月27日	864人	45,000人
第31回（平成26年度）	7月26日	760人	52,000人
第32回（平成27年度）	7月25日	863人	60,000人
第33回（平成28年度）	7月23日	751人	70,000人
第34回（平成29年度）	7月22日	822人	75,000人
第35回（平成30年度）	7月21日	690人	70,000人
第36回（令和元年度）	7月27日	690人	76,000人
第37回（令和2年度）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
第38回（令和3年度）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
第39回（令和4年度）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
第40回（令和5年度）	7月29日	406人	75,000人
第41回（令和6年度）	9月7日	491人	77,000人

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 高橋 巧（内線4880）

観光振興係長 藤井 隆（内線4881）

令和7年度第1回市政モニターアンケートの実施結果をお知らせします

渋川市は、令和5年度に導入した「市政モニター」制度を活用し、44人の市政モニターを対象として、今年度1回目のアンケートを実施しました。42人から回答をいただいたアンケートの集計結果をお知らせします。

このアンケート結果は、各種施策の推進や計画立案などの参考資料として効果的に活用するとともに、市ホームページで公開します。

1 概 要

渋川市は、市の政策や計画策定などに対する市民意見を聴取し、各種施策の推進や計画立案などの参考資料として効果的に活用するとともに、市政への市民参加の実現と開かれた市政を推進するため、令和5年度に「渋川市市政モニター」を設置しました。今年度は、市内関係団体からの推薦37人と公募による7人の計44人を市政モニターに登録しています。

今回、令和7年度第1回市政モニターアンケートとして、「市の生涯学習について」、「市の景観について」をテーマにしてアンケートを実施しました。

このアンケートの結果を報告します。

2 アンケート実施期間 令和7年6月17日～30日

3 アンケート実施対象

令和7年度渋川市市政モニター44人(推薦による登録・37人、公募による登録・7人)

4 回答状況 回答者：42人（20～80歳代） ※回答率：95.5%

5 アンケート集計結果（詳細は別紙のとおり）

（1）市の生涯学習（市民総合文化祭とコミュニティ・スクール）について

①結果概要

【市民総合文化祭について】

- ・市民総合文化祭の見学者を増やすために有効と思われる方策として、「SNSの活用」と「学校を通じた周知」が多数となった
- ・市民総合文化祭で見たい展示や発表については「体験・参加型の展示・発表」が多数となった。また、自由記載において様々なアイデアが寄せられたことから、既存の文化祭にとらわれない、新たな展示・発表の方法の検討・企画していくことも必要であると思われる
- ・市民総合文化祭で発表・展示をしたいものが無いと回答した人が大多数であったことから、発表者募集には動機付けや支援策が必要であると思われる

【コミュニティ・スクールについて】

- ・コミュニティ・スクールについて「知らない」と回答した人が半数以上となった
- ・子どもたちの学びや成長のために自分が協力できることについて「登下校の見守り」と回答した人が最も多くなった

②主な意見

【市民総合文化祭について】

- ・市民総合文化祭に体験など、気軽にできることがあれば、少しでも興味がある人は足を運ぶと思う
- ・小中学生に見せたい文化価値のあるものは、学校に足を運んで教える・見せる・方法を考える方が良い
- ・デジタルアートなどの体験ができると楽しい

【コミュニティ・スクールについて】

- ・登下校の見守り17年間、菊花栽培の講師を18年間、通学路美化を20年継続中
- ・老人クラブと中学校で、年1回道路清掃を行っており、毎年参加しています
- ・小学校に何回か書道を教えに行っています
- ・中高生との交流を増やすには、放課後や休日に無料もしくは習い事より安く中高生向けの講座を実施し、地域人材が講師となる
- ・自然環境の大切さや、地域の伝統のお祭りで交流を推進したい

③今後の対応

- ・今回いただいた意見は、市民総合文化祭やコミュニティ・スクールをはじめとする地域の教育・文化活動を通じて、子どもたちの学びや成長、地域とのつながりをより深めていくための基礎資料とします

(2) 市の景観について

①結果概要

- ・好きな渋川市の景観は「山並み」「温泉地」「水辺」などの自然や観光資源が多かった
- ・景観を損ねている要因として「空き家・空き地」「ごみの不法投棄」「荒れた農地」「太陽光パネルの乱立」と回答する人が多かった
- ・良好な景観を守るためにルールが必要と思われるものについては「太陽光発電設備の設置」「空き家・空き地の管理」「残土や資材置場の管理」に意見が集中した

②主な意見

- ・もっと深く全国の先進事例を研究してより良い整備を目指す
- ・渋川市御蔭付近の、不自然な太陽光パネルの乱立は気になります。太陽光は、何年か後の破棄のことも鑑みると拡大には賛成できません
- ・空き家がそのままの状態で放置されるケースが増えていること
- ・関越、17号沿いの、ゴミの問題

③今後の対応

- ・今回いただいた意見は、多様で良好な景観資源を次世代に継承し、創造するために、参考資料とします

6 その他

今回のアンケート結果を、事業担当課を含む市内の全所属に共有し、各施策の今後の展開に反映できるよう検討していきます。

参考

1 令和7年度市政モニター登録者の情報

- (1) 居住地 渋川地区（23人）、伊香保地区（6人）、小野上地区（1人）、子持地区（3人）、赤城地区（8人）、北橋地区（3人）
- (2) 年 齢 20歳代（3人）、30歳代（10人）、40歳代（9人）、50歳代（7人）、60歳代（6人）、70歳代（8人）、80歳代（1人）
- (3) 職 業 専業主婦、自営業、会社員、パート、団体職員、会社役員、個人事業主、呉服・服地・絵画等販売業、生花販売業、土地家屋調査士法人、塗装業販売、飲食業、旅館業、農業、無職、主婦、助産師、子育て支援員、大学生、
- (4) 性 別 男性＝21人、女性＝16人（推薦による登録者のみ）
- (5) 任 期 令和8年3月31日（火）まで

2 令和6年度のアンケートの回答状況

- (1) 第1回／実施期間：令和6年6月18日～7月2日
テ ー マ：・渋川市とハワイ郡との交流について（伊香保ハワイアンフェスティバル）
・市の農林行政の推進について
回答状況：回答者40人（回答率90.9%）
- (2) 第2回／実施期間：令和6年9月2日～20日
テ ー マ：・新市誕生20周年について
・市の広聴事業について
・プラスチックの分別収集について
回答状況：回答者37人（回答率84.1%）
- (3) 第3回／実施期間：令和6年10月23日～11月14日
テ ー マ：・10年後の渋川市について（第3期渋川市総合戦略）
・渋川市議会について
・市の職員の「カスタマーハラスメント対策」について
回答状況：回答者36人（回答率81.8%）
- (4) 第4回／実施期間：令和7年1月9日～31日
テ ー マ：・「第2次渋川市中心市街地活性化プラン」について
・渋川市地域福祉センターについて
回答状況：回答者38人（回答率86.4%）

3 令和6年度のモニターアンケートの事業への主な反映状況

- (1)「渋川市とハワイ郡との交流」について、市職員のアロハシャツ着用期間を、8月末まで延長した
- (2)「新市誕生20周年」について、記念事業としてあったらいいと思うもののうち、「ロゴマークの作成」、「現在ある事業を冠事業として開催」、「祝賀式典の開催」などを実施
- (3)「市職員のカスタマーハラスメント対策」について、職員の名札のフルネーム表記を令和7年4月から変更した

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

広報広聴係長 武井 香代（内線2414）

令和 7 年度 第 1 回 渋川市市政モニターアンケート結果

渋川市は、市民の皆様から市政等に関する意見や要望をお聞きし、各種施策の推進や計画立案の参考とさせていただくことを目的に市政モニターアンケートを実施しました。

令和 7 年度 第 1 回 アンケートの集計結果は次のとおりです。

- 【調査対象】 令和 7 年度市政モニター 44 人（公募 7 人・団体推薦 37 人）
＜モニターの要件＞
- ・市内に住所を有する 18 歳以上の人
 - ・公務員や地方公共団体の議員などでない人
 - ・同一世帯に市政モニターに応募しようとする者がいない人
- 【実施期間】 令和 7 年 6 月 17 日（火）～ 6 月 30 日（月）
- 【実施方法】 アンケートフォームによる（一部、書面（郵送）調査）
- 【実施内容】 1. 市の生涯学習について（問 1～問 7）
2. 市の景観について（問 8～問 16）
- 【回答状況】 アンケート調査回答者：42 人（20 歳代～80 歳代）
回答率：95.5%

参考

＜アンケート回答者の情報＞

- (1) 居住地 渋川地区（23 人）、伊香保地区（6 人）、小野上地区（1 人）、
子持地区（3 人）、赤城地区（8 人）、北橘地区（3 人）
- (2) 年 齢 20 歳代（3 人）、30 歳代（10 人）、40 歳代（9 人）、
50 歳代（7 人）、60 歳代（6 人）、70 歳代（8 人）、
80 歳代（1 人）

渋川市

（広報室）

令和7年度 第1回
 渋川市市政モニターアンケート

1. 市の生涯学習について

市は、文化の祭典「渋川市民総合文化祭」を毎年9月～12月にかけて開催しています。市民総合文化祭では、渋川市文化協会の加盟団体を中心に、市内で活動する様々な文化団体が日ごろの活動の成果を発表します。

本アンケートは、市民総合文化祭やコミュニティ・スクールをはじめとする地域の教育・文化活動を通じて、子どもたちの学びや成長、地域とのつながりをより深めていくための基礎資料とすることを目的に実施します。

今後の施策の充実に向けて、率直なご意見をお寄せください。

問1 これまでに、渋川市民総合文化祭を見学もしくは出展・出演したことはありますか。

①ある（どの会場で 何を ）（11人・26.2%）

<①簡易抜粋>

- ・市民会館、子持社会体育館で見学した
- ・子持社会体育館、市民会館で、華道・絵画
- ・数か所の公民館で生け花
- ・子持社会体育館で俳句作品と書道作品の出品
- ・金島ふれあいセンターで、唄の発表

②ない（31人・73.8%）

年齢別回答状況				単位:人
〇)は人数	①	②	未回答	合計
20歳代(3)	1	2		3
30歳代(10)		10		10
40歳代(8)	2	6		8
50歳代(7)	1	6		7
60歳代(6)	3	3		6
70歳代(7)	3	4		7
80歳代(1)	1			1
合計(42)	11	31	0	42

※どの年代でも「②ない」の回答が多い。今後も積極的な見学もしくは出展・出演の周知が必要と言える

問2 市民総合文化祭について、見学者を増やすにはどうしたらよいと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

- ①小中学校に周知し児童生徒に見学へ行くよう促す（17人・41.5%）
- ②SNSを活用して幅広い層に周知する（33人・80.5%）
- ③会場の市民会館や社会体育館は地元から遠いので各団体の地元公民館での発表に切り替える（5人・12.2%）
- ④その他（4人・9.8%）
- ※未回答（1人）

＜その他意見＞

- ・体験など、気軽にできることがあれば、少しでも興味がある人は足を運ぶと思う
- ・免許返納した人に無料送迎バスを運行する
- ・小中学生に見せたい文化価値のある物は学校に足を運んで教える・見せる・方法を考える方が良い
- ・開催日中、又は前に新聞に出す。終ってからの記事では見学者は増やせない。SNSで若い人を呼ぶのも興味有る創作品が有れば良と思う
- ・市内の吹奏楽部や合唱部、演劇、伝統芸などの発表も一緒に行い、家族の参加を促す
- ・高齢者向けの交流スペースに掲示する

年齢別回答状況						単位:人
①は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(3)	2	2				4
30歳代(10)	4	9		1		14
40歳代(8)	4	5	1	1		11
50歳代(7)	3	7	1	1		12
60歳代(6)	1	6	1			8
70歳代(7)	3	4	2		1	10
80歳代(1)				1		1
合計(42)	17	33	5	4	1	

※回答の多くは「②SNSを活用して幅広い層に周知する」で、特に30～60代で支持が高かった。「①小中学校に周知し児童生徒に見学へ行くよう促す」も、幅広い年代から支持があり、「③会場の市民会館や社会体育館は地元から遠いので各団体の地元公民館での発表に切り替える」は、少数意見だった。全体的に、SNSによる広報と、学校を通じた直接的な周知の、使い分けまたは併用が来場者の増加につながると考える人が多い

**問3 市民総合文化祭であなたが見てみたい展示や発表はどんなことですか。
当てはまるものを全て選んでください。**

①既存の文化祭の枠にとらわれない新しい文化の展示物や発表（15人・36.6%）

<①簡易抜粋>

- ・地域の子どもの作品の展示
- ・渋川市を題材にしたサブカルチャーの企画展示
- ・渋川市の企業や市民団体などで今まで市内に無かった産業、名物、開発品
- ・演劇や、かくし芸大会など
- ・化学、物理に関する児童、生徒の研究物の展示発表
- ・外国文化芸術に触れるものを県内在住の外国人に紹介してもらう
- ・地元地域の企業の技術や製品の展示、企業風土の紹介
- ・渋川駅由来の鉄道マニア展などおもしろいと思う

②地域に根ざした伝統文化の展示物や発表（13人・31.7%）

<②簡易抜粋>

- ・群馬県及び群馬の歴史について。城跡や古墳も多く、面白い歴史も多々ある
- ・渋川市内に伝わる伝統芸能の実演や考古学等の歴史的資産の計画的展示等
- ・手工芸品の昔今
- ・渋川山車祭りは隔年なので、子ども達が太鼓を忘れてしまう。毎年、発表する機会があると忘れずに済むのではないか？また各町のたたき方の特色もあるので、紹介するのも興味がある

③見学者が体験・参加ができる展示や発表（19人・46.3%）

<③簡易抜粋>

- ・伊香保温泉芸子さんによるお座敷遊び等
- ・ボランティア体験等（こども食堂？車椅子体験？高齢者体験等）
- ・若年層が体験・参加できるような、今流行のものを取り入れてみる
- ・会場で参加できる事ならば、展示している部会にお願い出来れば良いと思う
- ・赤城町の廻り舞台の体験
- ・参加者全員で歌うコーナー（誰でも歌える歌）
- ・デジタルアートなどの体験が出来ると楽しい

④その他（2人・4.9%）

※未回答（1人）

<その他意見>

- ・伊香保温泉の効能体験（足湯など）
- ・今のままでいいと思う。友人の作品をみることは興味深いので

年齢別回答状況					単位:人	
〇は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(3)	1	1	1			3
30歳代(10)	3	2	5	1		11
40歳代(8)	3	1	4			8
50歳代(7)	4	4	3			11
60歳代(6)	1	2	2	1		6
70歳代(7)	2	2	4		1	9
80歳代(1)	1	1				2
合計(42)	15	13	19	2	1	

※最多は「③見学者が体験・参加ができる展示や発表」で、特に30・40・70代で多く挙げた。「①既存の文化祭の枠にとられない新しい文化の展示物や発表」と「②地域に根ざした伝統文化の展示物や発表」は、ほぼ同程度だった。多様なニーズが見られる中、自由記述で示される具体案や新提案を重視した企画づくりが有効と言える

問4 あなたが文化祭で展示、発表するとしたらどのようなものが可能ですか。

①具体的に（7人・16.7%）

<①簡易抜粋>

- ・ 渋川市に限るなら「バブル期から令和まで、伊香保温泉の衰退と復活の歴史」。
- ・ 群馬全体で見せるなら「山に生き、山に消えた町:知られざる近代化の柱、群馬の営林集落の歴史」みたいな感じでしょうか
- ・ 学生が普段出来ない発表
- ・ 地元の文化となっている職業の紹介
- ・ 自分達が活動しているものを見せたい
- ・ 無形文化財など披露する。無料食べ物の配布

②展示、発表したいものは無い（35人・83.3%）

※「②展示、発表したいものは無い」が35人と大多数を占めた。①の具体案がある人は7人で、全体として、参加意欲よりも見学志向が強い可能性がある。発表者募集には動機づけや支援策が必要と言える

年齢別回答状況				単位:人	
〇は人数	①	②	未回答	合計	
20歳代(3)		3		3	
30歳代(10)	2	8		10	
40歳代(8)	1	7		8	
50歳代(7)	1	6		7	
60歳代(6)	1	5		6	
70歳代(7)	2	5		7	
80歳代(1)		1		1	
合計(42)	7	35	0	42	

問5 市は、地域住民と学校が協働し、子どもたちの学びや成長と一緒に支えていく「コミュニティ・スクール」を、市内の18校区の小中学校で導入しています。この取り組みについて知っていますか。

- ①内容について知っている（8人・19%）
- ②聞いたことはあるが、内容は分からない（11人・26.2%）
- ③知らない（23人・54.8%）

年齢別回答状況					単位:人
0は人数	①	②	③	未回答	合計
20歳代(3)			3		3
30歳代(10)	1	3	6		10
40歳代(8)	1	2	5		8
50歳代(7)	3	1	3		7
60歳代(6)	1	2	3		6
70歳代(7)	1	3	3		7
80歳代(1)	1				1
合計(42)	8	11	23	0	42

※「③知らない」が23人で全体の半数以上を占め、全年代で最多だった。「①内容について知っている」は8人、「②聞いたことはあるが、内容はわからない」は11人で、認知度は合わせても45%程度である。取り組みの周知について、広報や説明の機会を増やす必要があると言える

問6 子どもたちの学びや成長のため、あなたが地域住民として協力できること、もしくは関われることはありますか。当てはまるものを全て選んでください。

- ①学校の授業におけるゲスト講師や、授業の見守りなど（12人・28.6%）
- ②クラブ活動、部活動などの学校活動の補助支援（13人・31%）
- ③登下校の見守り（18人・42.9%）
- ④学校美化活動などの学校運営業務の補助・支援（12人・28.6%）
- ⑤学校外（公民館等）での、子ども向けイベントや講座の実施等（7人・16.7%）
- ⑥その他（3人・7.1%）

＜その他意見＞

- ・登下校見守り 17 年間、菊花栽培 18 年間講師、通学路美化 20 年継続中。中学生に地元歴史講師を、これまで実施して参りました。昨年より小 1 年生に昔遊びを教えています
- ・老人クラブと中学校で、年 1 回道路清掃を行っており、毎年参加しています
- ・小学校に何回か書道を教えに行っています
- ・読み聞かせ

年齢別回答状況								単位:人
〇は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	未回答	合計
20歳代(3)	1		3					4
30歳代(10)	3	5	4	1	1			14
40歳代(8)	2	4	3	1	2	1		13
50歳代(7)	2	2	2	4	1	1		12
60歳代(6)	2	2		2	3			9
70歳代(7)	1		5	3		1		10
80歳代(1)	1		1	1				3
合計(42)	12	13	18	12	7	3	0	

※最多は「③登下校の見守り」で、特に 70 代が多かった。次いで「②クラブ活動、部活動などの学校活動の補助支援」と「①学校の授業におけるゲスト講師や、授業の見守りなど」、「④学校美化活動などの学校運営業務の補助・支援」が同程度で、幅広い年代に分散した。「⑤学校外（公民館等）での、子ども向けイベントや講座の実施等」は少数で、直接的で日常的な関わりが支持されやすい傾向がみられる。総じて、参加意欲は「日常的・短時間で関われる活動」や「自身の経験を生かせる活動」に集まりやすく、特に高齢層は安全見守り、現役世代は授業・部活支援や学校運営補助への関心が高いことがわかる。今後の協力者募集を行う場合は、年代別の特性に応じた役割提案と、参加のハードルを下げる工夫が効果的と言える

問7 中学生・高校生と地域住民の交流をさかんにする取り組みについてアイデアがありましたら、自由に記入してください。

<例>

- ・放課後や休日に公民館等で中高生向けの講座を実施し、地域人材が講師となる
- ・地域の行事に中高生が参加するよう、家族等が積極的に働きかける
- ・地域の行事に中高生が参加するよう、学校から案内してもらう
- ・地域人材が学校のクラブ活動や部活動の応援・補助をする

<簡易抜粋>

- ・放課後や休日に無料もしくは習い事より安く、中高生向けの講座を実施し、地域人材が講師となる
- ・高校生が教える側として、企業の広報やマーケティング部門に SNS の文化やトレンド、IT リテラシーを高めるために必要なことを教える
- ・高校生は就職や進学についての講習会とか興味あるかもしれないですね。どの職業がどういうスキームでお金を生み出し、それを労働者が受け取っているかみたいな、どうすればお金を稼げるのかという講習。税金や社会保障と絡めて地域産業の重要性がわかることで、地元での就職や地域産業従事者との交流が図れそうです
- ・職場見学、就業体験（大工、職人やデザイナーなど法人だけではなく個人事業等も含める）
- ・地域の祭りなどイベントボランティア（企画・運営なども）
- ・地域美化運動（地域の施設の清掃、ゴミ拾い）
- ・自治会の活動に参加
- ・地元の文化や産業になっている仕事体験を通して知らないことを知るチャンスや、やったことのないことをやってみる体験の場を作る。人生の目的と目標のちがいを学ぶ講座を開く
- ・自然環境の大切さや、地域の伝統のお祭りで交流を推進したい。
- ・ボランティア活動に興味のある中高生にいろいろなボランティアを広報やSMSで紹介してやってもらう
- ・金島地区の夏祭りには金中の生徒さんが参加して手伝ってくれてますが高校生はなかなか集まるのが無理なのかも
- ・中高生が活動に参加しやすいよう周りの配慮も大切です
- ・中・高生は、かなり忙しい生活をしているので、学校側からの呼びかけ・協力があると助かる。特に、地域で避難訓練があっても地域役員や年配の方々ばかりなので、部活単位で地域の防災に参加してもらえるとよいと思う。地域にどんな人がいるか見えるし。大人達が何を一生懸命しているか…を知ってもらっただけでもいいと思う。そして学生さん達の考えや意見も知って取り入れていくとよいと思う

2. 市の景観について

渋川市は、全国的に有名な伊香保温泉の景観をはじめ、山林や農地など自然環境を活かした景観や白井宿などの歴史を活かした景観、渋川駅を中心とした都市的な景観と多様で魅力のある景観資源が複合した地域となっています。

しかし、住宅地及び郊外での空き地・空き家の増加、太陽光発電設備（太陽光パネル）や屋外広告物の乱立等により、景観を損ねている箇所もあり、良好な景観資源を守るためのルールも必要になっています。

また、渋川市の景観の潜在能力を生かし切れていない側面が多く見られるため、新しい景観を創造することも必要になっています。

このように、多様で良好な景観資源を次世代に継承し、創造するために、市民が渋川市の景観に対してどのように感じているか、将来どのようにしていきたいかなどの意向を調査するために実施するものです。

問 8 好きな渋川市の景観はどれですか。あてはまるものを3つ選んでください。

- ①赤城山・子持山などの景観（31人・73.8%）
- ②利根川・吾妻川などの水辺の景観（16人・38.1%）
- ③畑の広がる農地の景観（3人・7.1%）
- ④郊外集落地の景観（3人・7.1%）
- ⑤渋川駅周辺などの商業地の景観（4人・9.5%）
- ⑥四ッ角周辺の市街地の景観（4人・9.5%）
- ⑦市街地内の住宅地の景観（1人・2.4%）
- ⑧伊香保温泉の観光地の景観（24人・57.1%）
- ⑨白井宿等歴史的、文化的な景観（11人・26.2%）
- ⑩公園・緑地等の景観（3人・7.1%）
- ⑪鉄道沿線の景観（3人・7.1%）
- ⑫国道17号沿道の工業団地の景観（3人・7.1%）
- ⑬幹線道路沿いの沿道商業地の景観（0人・0%）
- ⑭市全体としての景観のよさ（2人・4.8%）
- ⑮その他（1人・2.4%）

<その他意見>

・榛名山 小野子山の景観

年齢別回答状況																	単位:人
①は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	未回答	合計
20歳代(3)	2				1		1	1				2					7
30歳代(10)	5	3			1	2		6	3		1			1			22
40歳代(8)	5	2	1	1	1	1		6	1	1		1					20
50歳代(7)	7	5	2					4	1	1					1		21
60歳代(6)	6	2		1				5	3		1						18
70歳代(7)	5	3			1	1		2	3	1	1			1			18
80歳代(1)	1	1		1													3
合計(42)	31	16	3	3	4	4	1	24	11	3	3	3	0	2	1	0	

※最も多かったのは「①赤城山・子持山などの景観」で、全年代から高い支持を集めた。次いで「⑧伊香保温泉の観光地の景観」、「②利根川・吾妻川などの水辺の景観」が続き、自然や観光資源に関する景観が上位を占め、好まれる傾向にあることがわかった

問9 渋川市内の景観で未来に残したいと思う景観はどこですか。具体的な場所や風景をご自由に記載してください。

＜簡易抜粋＞

- ・伊香保温泉石段街
- ・渋川総合公園付近の森の雰囲気が好きです
- ・赤城町津久田の福増寺
- ・小野上の棚田
- ・四ツ角及び商業地区
- ・市街地に点在する歴史的な価値ある建物群
- ・榛名山、子持山、赤城山麓の山並みなど
- ・商工会議所
- ・白井宿、八重桜
- ・山や川の自然豊かな景観。赤城町から観える風景が考慮されて無いのはあり得ない。そもそも市街地に魅力を感じない
- ・子持山等のルートを整備、山頂の風景は渋川市が一望できる
- ・利根川などの川の周辺
- ・白井宿、利根川沿いの自転車ロード、緑地公園、行幸田蕎麦畑など都内からの観光や体験で都会と異なる渋川市の魅力を発信してはどうでしょう
- ・雙林寺 中郷の寺 広々としている。趣があるお寺
- ・利根川遊歩道（渋川ガスから吾妻川公園入口）
- ・水沢寺周辺
- ・駄菓子屋や商店など子供達が気軽に買い物できる所
- ・国道353号沿いの市内から中之条方面で見える田園風景

問 10 渋川市の良好な景観づくりに向けて、どのようなことが大切だと思いますか。あてはまるものを3つ選んでください。

- ①赤城山裾野や利根川などの自然の景観を現在の姿のままで保存する（19人・45.2%）
- ②主要な道路沿道の整備や、沿道の看板などのルールを設定する（9人・21.4%）
- ③後背地に広がる自然だけではなく、市街地等にも緑豊かなゆとりのある景観づくりを進める（5人・11.9%）
- ④白井宿などの歴史的、文化的な風景を保存または整備する（20人・47.6%）
- ⑤空き地や空き家などを管理しながら、街並みを保全または整備する（16人・38.1%）
- ⑥農地や山並みと調和した住宅地、集落の景観を保全または整備する（4人・9.5%）
- ⑦公園・緑地などのうるおいのある風景を整備・保全する（5人・11.9%）
- ⑧渋川駅周辺などの街中でにぎわいのある市街地を整備する（7人・16.7%）
- ⑨伊香保温泉や道の駅などの観光拠点を中心とした整備を進める（20人・47.6%）
- ⑩工業団地などでは建物などを建てる際、周囲の景観へ配慮する（1人・2.4%）
- ⑪特に優れた景色を見ることができる場所については、景色が見られる空間整備を行う（11人・26.2%）
- ⑫その他（3人・7.1%）

＜その他意見＞

- ・もっと深く全国の先進事例を研究してより良い整備を目指す
- ・頑張っていると思います
- ・渋川駅から伊香保までの路面電車の整備

年齢別回答状況

単位:人

〇は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	未回答	合計
20歳代(3)	2	1		1			1	1	1		1			8
30歳代(10)	3	2	2	5	3	1	2	3	5		3			29
40歳代(8)	2	3	1	2	4		1	2	4		1	1		21
50歳代(7)	5	2	1	2	3	2			3	1	1	1		21
60歳代(6)	3		1	6	1	1			3		3			18
70歳代(7)	3	1		4	4		1	1	3		2	1		20
80歳代(1)	1				1				1					3
合計(42)	19	9	5	20	16	4	5	7	20	1	11	3	0	

※最多は「④白井宿などの歴史的、文化的な風景を保存または整備する」と「⑨伊香保温泉や道の駅などの観光拠点を中心とした整備を進める」で、自然や文化を活かした観光資源への関心が高い。「①赤城山裾野や利根川などの自然の景観を現在の姿のままで保存する」や「⑤空き地や空き家などを管理しながら、街並みを保全または整備する」も支持が多く、環境保全と景観維持の両面が重視されている。一方、「②主要な道路沿道の整備や、沿道の看板などのルールを設定する」や「⑪特に優れた景色を見ることができる場所については、景色が見られる空間整備を行う」は中程度、「⑩工業団地などでは建物などを建てる際、周囲の景観へ配慮する」や「⑥農地や山並みと調和した住宅地、集落の景観を保全または整備する」は、少数にとどまった。全体として、「観光・歴史文化資源の活用」と「自然・環境保全」の両立が市民の重要視する景観づくりの傾向となっている

問 11 景観の良さを損ねていると感じる項目はどれですか。あてはまるものを3つ選んでください。

- ①樹木の伐採により山肌が見える山並み（3人・7.3%）
- ②山頂などに突き出たアンテナや鉄塔（1人・2.4%）
- ③汚れた川や水面（10人・24.4%）
- ④屋外広告物や案内標識（4人・9.8%）
- ⑤色やデザインに統一感のない街並み（8人・19.5%）
- ⑥電柱や電線類（7人・17.1%）
- ⑦放置された自転車や自動車（2人・4.9%）
- ⑧道路や橋などの土木構造物（0人・0%）
- ⑨ごみの不法投棄や廃棄物等の野積み（20人・48.8%）
- ⑩空き地や空き家などの増加（22人・53.7%）
- ⑪耕作されずに荒れ果てた農地（15人・36.6%）
- ⑫開発行為に伴う残土置場や資材置場（5人・12.2%）
- ⑬太陽光発電設備（太陽光パネル）の乱立（18人・43.9%）
- ⑭その他（1人・2.4%）
- ※未回答（1人）

＜その他意見＞

- ・川底未整備の一級河川

年齢別回答状況

単位：人

0は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	未回答	合計
20歳代(3)					1	1			2	2			3			9
30歳代(10)			3	1	2	1	1		6	5	3	2	3		1	28
40歳代(8)	1		2	1	2	2			2	2	3		5			20
50歳代(7)	1	1	4	1	1				3	3	1	2	3			20
60歳代(6)	1		1	1	1	1	1		3	4	2		2			17
70歳代(7)					1	2			3	5	5	1	2	1		20
80歳代(1)									1	1	1					3
合計(42)	3	1	10	4	8	7	2	0	20	22	15	5	18	1	1	

※最多は「⑩空き地や空き家などの増加」で、次いで「⑨ごみの不法投棄や廃棄物等の野積み」、「⑬太陽光発電設備（太陽光パネル）の乱立」、「⑪耕作されずに荒れ果てた農地」が続き、生活環境の荒廃や土地利用の乱れに対する懸念が強い。「③汚れた川や水面」や「⑤色やデザインに統一感のない街並み」、「⑥電柱や電線類」は中程度の関心。「①樹木の伐採により山肌が見える山並み」、「②山頂などに突き出たアンテナや鉄塔」、「⑧道路や橋などの土木構造物」などは比較的少数意見だった。全体として、生活環境の管理不足や乱雑さが景観の良さを損ねる要因として強く意識されていることが分かる

問 12 不満に思っている景観や改善したほうが良いと思う景観はありますか。
具体的な場所や風景をご自由に記載してください。

＜簡易抜粋＞

- ・駅がもう少し都会的になると良い
- ・伊香保温泉石段街等で目立つ空き店舗、空き家の改修、利用
- ・渋川市御蔭付近の、不自然な太陽光パネルの乱立は気になります。太陽光は、何年か後の破棄のことも鑑みると拡大には賛成できません
- ・道路、防火用水等を覆う 雑草
- ・渋川市金井のかない苑の前の竹林
- ・空き家がそのままの状態で放置されるケースが増えていること、市街地の特に四ツ角・辰巳町商店街の建物の統一性の無さや清潔感並びに埋まらない商業ビルや空き地、散見される休耕地等
- ・街中の空き家。所有者不在や相続問題などがあるのはわかるが、特に旧市街地の過疎に伴う空き家問題（移住による助成金などもあるが、そもそも旧市街地に家を建てられる、購入可能な土地自体が不足しているように思う）。
- ・四ツ角周辺の空き地
- ・渋川 IC 付近のあじさい
- ・北橋町のふれあい公園からトマル八崎デリバリーセンターまでの道は、雪が降ると竹が倒れてきて道路を塞ぎ危険です。普段も竹が伸びすぎていてサージタンクの景観を損ねていると思います
- ・渋川駅前白いタイルの広場（照返しがすごい）
- ・関越、17 号沿いの、ゴミの問題
- ・子持の黒井峯遺跡が長い間、ただの草原で活用されていない。歴史公園として早急に整備すべきです
- ・伊香保から榛名山へのアクセス道路途中に山々を展望出来る箇所がありますが、茂った木々に遮られ遠方が見えませんでした。現地調査と改善を望みます
- ・山のハイキングで整備がされていない(表示・道)等
- ・観光地に設置されているポップな看板やオブジェ、顔出しパネル(簡易的な撮影スポット)などが景観から浮いていてダサいと感じることがある
- ・白井宿の桜の名札徹底
- ・赤城町北上野から深山に抜ける道沿いにゴミ(不法投棄?)が山積みになっている場所があり、気になっている
- ・伊香保街道(市民会館周辺)が、廃れているイメージがあります。観光地へ向かう大通りではありますが、元かずのや、元家族葬が出来る建物など、廃墟のような大きい建物が目立ちます。グリーン牧場周辺の伐採もあまり良いイメージがありません。サージタンクも、桜が綺麗な場所でもあるので、もう少しふもとを整備したら見た目が良くなると思います

問 13 景観づくりを進めるためのルールとして、どのようなルールが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

- ①屋外広告物（看板など）の大きさや設置位置などに関するルール（11人・27.5%）
- ②建築物や工作物などの色に関するルール（5人・12.5%）
- ③建築物の高さや大きさなどに関するルール（1人・2.5%）
- ④残土置場や資材置場に関するルール（16人・40%）
- ⑤山並みを乱さないために鉄塔の立地や木の伐採を抑制するためのルール（6人・15%）
- ⑥建築物や工作物の周辺における緑化を保全するためのルール（4人・10%）
- ⑦農地の風景を守るためのルール（8人・20%）
- ⑧空き家や空き地を管理するためのルール（24人・60%）
- ⑨太陽光発電設備（太陽光パネル）の設置に関するルール（26人・65%）
- ⑩その他のルール（1人・2.5%）
- ⑪ルールは特に必要ない（2人・5%）
- ※未回答（2人）

<その他意見>

- ・山への不法投棄に関するルール

年齢別回答状況												単位:人	
0は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	未回答	合計
20歳代(3)	1							2	3				6
30歳代(10)	3	1		4	2		1	3	3		1	1	19
40歳代(8)	2	2		4	2	1	2	4	5		1		23
50歳代(7)	3			4	1	2	1	4	5				20
60歳代(6)	2	1	1	1		1	1	4	4	1			16
70歳代(7)		1		3			3	6	5				18
80歳代(1)					1			1	1				3
合計(42)	11	5	1	16	6	4	8	24	26	1	2	1	

※最多は「⑨太陽光発電設備（太陽光パネル）の設置に関するルール」で、特に40～70代で支持が高かった。次いで「⑧空き家や空き地を管理するためのルール」、「④残土置場や資材置場に関するルール」が続き、土地利用や施設管理に関する規制が上位を占めている。「③建築物の高さや大きさなどに関するルール」や「⑩その他」、「⑪ルールは特に必要ない」は少数派だった。自然景観や生活環境を損なう要因の抑制と、放置されがちな土地・施設の管理強化を求める傾向が見られる

問 14 屋外の大きな看板や使い捨て看板について、渋川市では群馬県条例に基づき一定の制限（設置場所、看板の高さ、表示面積、表示方法等）がされていますが、どのように考えますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ①看板類は規制すべきでない（2人・4.9%）
 - ②現行のままでよいが、県条例の規制について周知し、徹底すべき（21人・51.2%）
 - ③渋川市独自の条例を定め、実情にあったきめ細かい規制を行うべき（18人・43.9%）
 - ④その他（0人・0%）
- ※未回答（1人）

年齢別回答状況						単位:人
①は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(3)		2	1			3
30歳代(10)	1	7	1		1	10
40歳代(8)	1	2	5			8
50歳代(7)		6	1			7
60歳代(6)		2	4			6
70歳代(7)		2	5			7
80歳代(1)			1			1
合計(42)	2	21	18	0	1	42

※最多は「②現行のままでよいが、県条例の規制について周知し、徹底すべき」で、特に30・50代で多く選ばれた。「③渋川市独自の条例を定め、実情にあったきめ細かい規制を行うべき」の意見も18人と多く、現行制度の周知・改善を望む声が全体の9割以上を占めた。一方、「①看板類は規制すべきでない」はわずか2人にとどまり、看板類の規制そのものへの反対はほぼ見られなかった。全体として、規制の方向性には賛同しつつ、周知強化や地域事情に合わせた柔軟な対応を求める傾向があると言える

問 15 太陽光発電設備（太陽光パネル）の設置に関して、渋川市条例に基づき一定の制限（設置場所、設置面積等）がありますが、どのように考えますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ①クリーンエネルギーを推進するため、規制すべきでない（1人・2.5%）
- ②現行のままでよいが、渋川市の条例の規制について周知し、徹底すべき（16人・40%）
- ③現行の渋川市の条例より、さらに実情にあったきめ細かい規制を行うべき（18人・45%）
- ④その他（2人・5%）
- ※未回答（2人）

<その他意見>

- ・土地にただ太陽光パネルだけを設置するのではなく、屋根の上など上手く活用するようにする
- ・基本的にはいいが、鉄骨架台で建築基準法を逃れるのはなんとかしてほしい。税収減でもあるし、何より風の強い群馬では本当に危ない。ちゃんと基礎を打って固定してくれれば問題ない
- ・一定の制限を知らない
- ・山並の景観と自然防災効果
- ・周辺の草木の手入れ
- ・数年後の壊れた時の処理
- ・条例を今理解していないので何とも言えない

年齢別回答状況						単位:人
〇は人数	①	②	③	④	未回答	合計
20歳代(3)		1	1	1		3
30歳代(10)	1	5	1	2	1	10
40歳代(8)		4	4			8
50歳代(7)		2	4	1		7
60歳代(6)		1	5			6
70歳代(7)		3	3		1	7
80歳代(1)				1		1
合計(42)	1	16	18	5	2	42

※「③現行の渋川市の条例より、さらに実情にあったきめ細かい規制を行うべき」の意見が18人と最多で、特に40～60代が多かった。「②現行のままでよいが、渋川市の条例の規制について周知し、徹底すべき」は16人で、規制の必要性を前提に改善を求める声が全体の8割程度を占める。一方、「①クリーンエネルギーを推進するため、規制すべきでない」は1人にとどまり、「④その他」では、屋根活用や安全対策、維持管理、廃棄時処理、景観・防災面への配慮など、具体的な条件や懸念が挙げられた。全体として、規制そのものには賛同しつつ、安全性・景観・管理面を考慮したより細やかな対応を求める傾向があると言える

問 16 今後の景観づくりについて「特に重点的な取組みが必要な場所」と思われるのはどこですか。具体的な場所や風景を、ご自由に記載してください。

<簡易抜粋>

- ・伊香保温泉石段街
- ・思いつく限りありません
- ・八木原駅周辺
- ・インター降りて伊香保へ向かう 17 号にあったアナベルがなくなり、華やかさや季節感が、失われ、渋川という印象が薄くなったので、かわりの何かの華やかさが欲しいと思います
- ・渋川市の顔は渋川駅だと思うので現在、整備中ですが、綺麗で印象的で旅人に訪れて良かったと思ってもらえる渋川駅であって欲しいと思います
- ・アルテナードや平沢川沿いの道路脇景観の整備、農山村部の空き家や休耕地
- ・旧市街地の空き家
- ・太陽光パネルの乱立
- ・渋川四ツ角周辺
- ・白井宿。もっと空き家を活用して街並みを整えてもよさそう
- ・観光地周辺に関してその中心地に向うまでのワクワク感や、ふんい気などの統一的演出をしてほしい
- ・伊香保温泉の看板の規制や統一感
- ・赤城インターの周辺
- ・白井宿や旧家など、白川郷のように整備し景観維持をスポットの見方から広範な地域として取組みしたらどうでしょう、アジサイ公園、蕎麦畑、秋桜畑、油菜畑なども広ければ充分な景観として成立つのではないのでしょうか
- ・市内のあちこちに山への投棄ごみや放置車がそのままになっている。こういう一つ一つを処理することが渋川の景観向上につながっていくのではないかなと思う（例 渋川社協の駐車場に放置された車一台が何年も置かれたままになっている。見苦しいし一台分の車が停められない）
- ・渋川駅前、市役所通り
- ・駅前のロータリーがのっぺりしていて面白く無さそうな印象なので、足湯を作って下さい
- ・暗い様な場所には街灯を設置して夜、学生が安全に帰宅出来るようにする
- ・市内周辺の小野上、赤城、子持、北橘地区の農業を保護し、今ある農村風景をこれからも残すような取り組みをお願いしたい
- ・ソーラーパネルについて、現状では乱立とまではいかないものの大きな存在感を放っている。そもそも太陽光発電がクリーンエネルギーを生むといえど、建設のために山を切り拓いては元も子もないのではないかな。そんな不信感もあり、ソーラーパネルについて嫌悪感すら覚える。既に建設されたものは活用するとして、今後新たな開発がなされる場合、自然を代償にするようなことがあってほしくはない

渋川市国際交流協会の「バーベキュー交流会」が開催されます

渋川市国際交流協会は、市民レベルで外国人との交流を深めるため、英語圏に限らない在住外国人とのバーベキュー交流会を、10月25日(土)に開催します。

1 概 要

渋川市国際交流協会は、多文化共生社会の実現に向けて、市民レベルで外国人との交流を深め、国際感覚を身に付けてもらう機会として、英語圏に限らない在住外国人とのバーベキュー交流会を開催しています。

交流会では、バーベキュー以外に、参加者同士で楽しめるレクリエーションも実施し、多くの人に国際交流の場を提供します。

2 日 時 令和7年10月25日(土) 午前10時30分～午後1時

3 会 場 渋川市総合公園 バーベキュー場

4 事業内容

- (1) 参加者全員が楽しめるレクリエーション
- (2) バーベキュー
- (3) その他

5 参加対象者 どなたでも

6 定 員 60人(先着順)

7 参加費

- (1) 一般(高校生以上)＝800円
- (2) 国際交流協会員(高校生以上)＝500円
- (3) 外国人(家族含む)、一般ボランティアスタッフ＝500円
- (4) 小中学生、国際交流協会ボランティアスタッフ＝300円
- (5) 未就学児＝無料

※参加費は、食材費の一部として徴収します

8 申込方法

氏名、住所、電話番号、国籍、宗教上食べられないものを、渋川市国際交流協会事務局(市役所市民協働推進課内)へ電話(0279-22-2463)またはメール(sia-shibukawa@city.shibukawa.gunma.jp)で申し込みください。

- 9 申込期間 令和7年9月9日(火)～22日(月)
※申し込みをしていないと参加できない可能性があります
必ず事前に申し込みください
- 10 その他 当日は動きやすい服装で参加してください

参考

過年度のバーベキュー交流会実施状況（過去3回分）

(1) 令和元年度

日 時：令和元年9月28日 午前10時30分～午後2時
会 場：渋川市総合公園 バーベキュー場
参加人数：129人（うち外国人参加者61人）

(2) 令和5年度

日 時：令和5年10月14日 午前10時30分～午後1時
会 場：渋川市総合公園 バーベキュー場
参加人数：36人（うち外国人参加者15人）

(3) 令和6年度

日 時：令和6年10月26日 午前10時30分～午後1時
会 場：渋川市総合公園 バーベキュー場
参加人数：43人（うち外国人参加者19人）

■問い合わせ先

渋川市国際交流協会
事務局長（市民環境部長） 堀口 幸則（内線1100）
担当：事務局（市民協働推進課内）（電話0279-22-2463）
事務局次長（課長） 小野 宏伸（内線4314）
自治活動支援・市民交流係長 荒木 信彦（内線4315）